



287号

2025年

4月15日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <https://odunion.jp>

メールアドレス info@odunion.jp

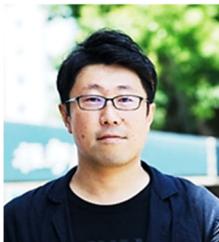
目次： 1：委員長あいさつ 2：組合成果・組合費 3～5：単組紹介 6：サイクリングで里山訪問

岡山大学職員の生活と権利を守るために いっしょに組合やりませんか！

あなたも 岡山大学職員組合に

ようこそ岡山大学へ

執行委員長 高岡 敦史



4月より本学に着任された皆様、ご着任おめでとうございます。常勤教職員の皆様も、非常勤教職員の皆様も、新たな環境でのお仕事で不安なこともあるかと思いますが、一日も早く気軽に相談できる

職場の友人ができますようにお祈り申し上げます。職員組合もいつも開かれておりますので、お困りの際はお問い合わせください。

さて、戦争は終わらず、トランプ関税による危機的な貿易摩擦は今後の不況を強く予感させ、物価は高騰すれど給与は思ったように上がらず、桜の季節でも上機嫌になれない状況です。

職員組合は、すべての教職員の皆様が働き続けたいと思える職場をつくるための組織です。サポ

ートすることができるのは教職員の皆様であり、課題を発見して解決しようとする対象は職場環境や制度です。立場が違えば仕事の論理は異なりますが、どこまでいってもわたしたちはひとりの生活者であり、人間です。互いに異なる論理を尊重しつつ、ともに働き続けたいと思える職場づくり、社会づくりに向かいたいものです。

働き続けたいと思える岡大づくりは岡大に所属するわたしたち全員の願いであり、全員で追求すべきことですが、そのためのコラボレーションは簡単ではありません。それぞれの背景にその人なりの生活があることを想像し、共感的に相互理解し、立場による論理の違いを超えて対話することが求められるでしょう。職員組合が対話をつなぐ場のひとつになりたいと思っています。この組合だよりがその一助になればと願っています。

最後に、皆さんがより良い一年のスタートを切ることができることを祈念し、4月の挨拶の言葉とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

教職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！

一人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合の発言力は大きくなり、よりよい労働条件を実現していくことができます。



あなたも組合の仲間になりませんか？

教員の方も、事務職員の方も、パートの方も組合に入ることができます。加入申し込みは、各単組役員、もしくは右のQRコードからどうぞ。メールは、info@odunion.jpまで。



組合活動を通じて、以下のような成果を上げています！

- * 東日本大震災臨時特例法による給与削減に対し、2012年度は全国トップレベルの減額幅圧縮、13年度は調整手当プラス2%を獲得
- * 60分授業・4学期制導入の問題点を指摘しつづけて、50分授業への見直しを実現
- * 附属学園組合員と理事・教育学部長との懇談実現
- * グッドジョブセンターの特別契約職員について、中間評価の開示をするよう規則改定
- * 非常勤講師授業開発改善手当の廃止に伴い、それに代わる手当を要求し、非常勤講師教育推進手当の支給を実現
- * 非常勤講師授業開発改善手当の支給期間を2019年度末から2020年度末に延長を要求し実現
- * 銀婚式休暇 新設
- * 非常勤職員の結婚休暇 実現
- * 診療系教員に対する裁量労働制、2019年4/1導入を見送らせる
- * ハラスメント防止委員会の設置 実現
- * 3年次編入「入試手当」の支給 実現
- * グッドジョブセンターへの正規職員配置を要求 実現
- * 有期雇用職員の5年超えを実現
- * 育児参加休暇 延長
- * 子の看護養育休暇：学校行事への出席等を含め、対象を小学校3年生に拡大
- * 夜間看護手当：1ヶ月に8回を超えて夜間看護した場合は1回につき2,000円を追加支給



- ① 各学部の組合（単組）に加入することで、全学の「岡山大学職員組合（連合体）」に加入したことになります。
- ② 「組合費」は単組毎に異なります。連合体分は毎月各職級の80号俸の0.5%です。
- ③ 有期雇用職員の方も加入できます。
- ④ 組合の活動には、単組毎の活動と連合体の活動があります。連合体は、大学執行部との団体交渉、学習会、レクリエーション活動、コーラスサークル、「組合だより」の発行、全国の大学組合との連携等を行っています。

薬学部、全学センター等の教職員、本部職員の方は、直接「連合体」に加入できます。学内便、メールにて連合体事務室（藤澤）まで、ご連絡ください。info@odunion.jp

組合費は単組ごとに異なり、連合体分に各単組分を加えた金額になります。連合体分は、職級別に定めており、毎月、各職級の80号俸×0.5%（100円未満切り捨て）になります。

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
教育職員	1,400円	1,700円	2,000円	2,200円	2,700円	
一般職員	1,200円	1,400円	1,600円	1,800円	1,900円	2,000円
医療職員	1,200円	1,400円	1,600円	1,700円	1,900円	2,000円
看護職員	1,300円	1,500円	1,600円	1,800円	1,900円	2,100円

年俸制の教員は、教授：教育5級、准教授：教育4級、講師：教育3級、助教：教育2級、助手：教育1級の組合費と同額となります。なお、非常勤職員等は別途規定があります。短時間勤務職員の方の組合費は、一律500円となっています。この機会にぜひ組合加入をご検討ください。

各学部単組もあなたの加入をお待ちしています！



法文経学部職員組合



法文経単組では、委員長・書記長・情宣・会計・レクリエーションを担当する執行委員5名体制で、職場環境の改善と組合員の懇親を深めるため活動しています。2024年度は、主に懇親活動を中心に行いました。

8月に恒例のビール大会を実施しました。会場は昨年度と同様、Jテラスを予約し、世界各国のビールを用意し、参加者からひとことずつお話しいただきながら交流をしました。学部の垣根をこえて交流する機会、情報交換をする機会は大変だと感じました。

2月には職場懇談会を開催しました（会場はJテラス）。おそらく例年はあまりこの時期に開催されていないと思い、年度末に交流の機会をと考え実施しました。ちょうど実施した時期が学期末の成績〆切などの時期と重なったということもあってか、参加者はあまり多くなかったのですが、3月で退職される先生方も参加され、ご挨拶をいただきました。夏のビール大会だけでなく、年度末の交流の機会もまた異なる趣があると感じました。

今年度は、新しい教養教育がスタートし、職場環境もこれまでと異なる状況が生まれることが予想されます。これまでと同様、学部の垣根をこえた様々な取組をしていくことが必要かと思っています。

(連絡先)

委員長 本村 昌文

tomtom@okayama-u.ac.jp

書記長 國米 充之

kokuma-m@cc.okayama-u.ac.jp

い研究と、指導力のある学校教員を一人でも多く育てる教育の両方が求められており、その要請は以前にもまして強くなっています。少子化時代に対処するための学内改革、急激なDX化の推進等、私たちの仕事は増すばかりです。このように目の前の課題に追われる日々では、人間としての「幸福」「福祉」「健康」と、ワークライフのバランスを上手にとることを見失いがちですが、この人としての基本的な願いは決して忘れてたくないと感じます。各方面からの社会変革の波が押し寄せる今日、職員組合の様々な活動がうまく作用して、効果的につながり、職場環境の改善につなげてゆくことが、今まで以上に重要になってきているように思えます。

教育学部職員組合では、全学職員組合の質問状や要望書、団体交渉の結果を組合メンバーへ伝える等、労働環境に関わる問題だけでなく、教職員同士の情報共有と、親睦を深め連携を強化することを目的とする福利厚生事業にも取り組んでいます。昨年度は、夏のビアパーティ、秋の演劇鑑賞(ハレノワ)、冬の意見交換会(Jテラスカフェ)、春の研究交流会と、年間を通してイベントが開催でき、教職員の親睦を図ることができました。これらの取り組みは、機関紙『マスカット』などを通じて広報しています。

皆さまが、一人でも多く組合へご参加くださり、労働環境の改善にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

(連絡先)

委員長 青木 多寿子

aokit@okayama-u.ac.jp

書記長 高橋 徹

t.takahashi@okayama-u.ac.jp

教育学部職員組合



教育学部職員組合では、委員長以下、書記長、会計、広報、文化・レクリエーションを担当する執行委員5名(1年任期)体制で、組合員のみならず部局内の教職員(有期事務職員の方も加入されています)が少しでも働きやすい労働環境を作るべく活動しています。

ところで、教育学部では、他学部同様の質の高

理学部職員組合



新任の教職員の皆様。岡山大学へのご着任、誠におめでとうございます。職員組合と聞けば、政治活動の懸念をお持ちの方もいるかもしれませんがご安心ください。私たちの目的は、教職員の労働条件の維持・改善、福利厚生の上昇といった身近な問題への取り組みです。職員組合は、私たち教職員の立場や待遇を守るための重要な組織です(組合の定義等は厚生労働省HPをご参照く

ださい)。政治活動のイメージは実情とは異なります。現在、大学は運営費交付金の減少により財政状況が厳しく、人件費削減の可能性があります。実際過去には、センター試験(現共通テスト)の試験監督手当が組合に事前の相談なく廃止された事がありました。私はまさにそれが決まる会議に理学部代表として参加しており当然反対しましたが、残念ながら多数決により廃止が決まりました。これは一生忘れないであろう悔しい思い出です。その後執行部から職員組合に事前の相談の無い不利益変更であったと謝罪がありました。しかし、手当は現在も復活していません。試験の度に監督手当不支給について不満の声を耳にすることがありますが、これは、組合員のみならず、私たち教職員が自らの権利を守るための意識や活動が十分でなかった結果の一例です。私たち教職員にとって、職員組合は自身の労働環境を守る上で不可欠な存在です。組合という「砦」がなくなれば、私たちの待遇はどうなってしまうか、想像に難くありません。現在、職員組合は高齢化が進んでおり、組織の維持・活性化が課題です。新任の皆様には、これから始まる岡山大学での生活をより安心して、より働きやすく過ごしていただくためにも、ぜひ理学部職員組合にご加入いただきますようお願い申し上げます。

(連絡先)

委員長 川崎 慎司

kawasaki@science.okayama-u.ac.jp

書記長 中掘 清

nakahori@cc.okayama-u.ac.jp

農学部職員組合



農学部職員組合は、農学部や附属山陽圏フィールド科学センター(FSセンター)等の関連組織の教職員で構成されています。当組合では、個人的な相談やアンケートで組合員の皆様のご意見をお伺いし、学部長・FSセンター長・事務室長と懇談を行うことで、職場環境や待遇面での情報収集・共有・改善に努めています。また、全学職員組合(連合体)からのご協賛とFSセンターのご協力のもと、「芋掘り会」を実施し、ご家族のふれあいの場を提供しています。さらに、ご家族とのコミュニケーションを支援する目的で、「レジャーへ行こう」や「FSセンターに行こう」といったキャッシュバック企画も実施しています。当組合は、以前は高い組織率を維持していましたが、近年は若い教職員を中心に組合離れが顕著で、組織運営にやや苦慮しております。気軽な相談および

情報提供の場として機能していますので、新任の方、労働環境・待遇面でお困りの方、将来のライフプランに不安のある方などは、ぜひご加入頂き、一緒に働きやすい職場を作っていけたらと思っております。農学部職員組合へのご加入を心よりお待ちしております。

(連絡先)

委員長 田村 隆

tktamura@okayama-u.ac.jp

書記長 荒川 健佑

karakawa@okayama-u.ac.jp

工学部職員組合



工学部職員組合は、組合の使命として、皆さんの労働環境の改善を訴える役目を担っています。その使命は不変ですが、もう一つの大きな目的は、工学部教職員間の親睦を図ることだと考えています。筆者の前職は、環境理工学部の教員でしたが、学部の規模が小さかったことが幸いし、教職員間の親睦が行き届き、仕事の面でも大きな助けとなりました。工学部は、規模が大きく、学部組織の中の教職員間の関係は希薄にならざるを得ません。この状況に対して、組合の中のコミュニケーションによって、教職員間の親睦が深まると、業務もスムーズに進むのではないのでしょうか。このようなコミュニケーションの輪は、業務以外にも、育児や介護の情報を交換する場も提供します。実質的な組合の活動は年1回(総会)だけで、組合活動に実質的なロードはほとんどかかりませんので、気軽に組合にご参加いただければ幸いです。また、組合に加入する、しないに関わらず、職場で発生した日々の疑問や懸念を、いつでも気軽に組合にご相談下さい。工学部職員組合は、いつでも工学部教職員に寄り添い、待遇や業務に関する問題を解決するために存在します。工学部から改善要求を行い、実現した例(宿舎、旅費、押印書類そして給料に関する案件など)は数多くあります。

未加入の皆様におかれましては、是非とも私どもと、教職員間のコミュニケーションの輪を作るため、加入をご検討いただければ幸いです。

(連絡先)

委員長 西村 伸一 内線 8162

theg1786@okayama-u.ac.jp

上森 武 内線 8033

uemori@okayama-u.ac.jp

附属学校園職員組合

附属学校園は本年度より教育学部附属より、岡山大学附属学園としてスタートします。



本学園の教職員は、岡山県・市との人事交流などで、県内の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校から転勤してきています。岡山大学の職員となり、勤務体系や人事の面など大きく変化することに戸惑いもある先生もいらっしゃいます。民主的な職場の実現について、職場会やアンケートを基に、勤務時間に関わること、変形労働時間や休暇に関わること、賃金に関わること、人事に関わることなどについて話し合い、職場の声を届け続けることで、改善を目指しています。今後も引き続きよりよい職場づくりに努力していきたいと思っています。運動会を幼・小・中で行う形式であり、『ODU ポロシャツ』を製作して連携意識を高めたり、懇親会や親睦バレーボールなどの活動を通したりして、附属学校園の職員の交流・親睦を行っています。これまでの先輩方の活動のおかげで今の職場があることに感謝しつつ、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の各現場や岡山大学組合本部との連携のもと、今年度も活動していきたいと考えています。引き続き、組合へのご参加およびご理解・ご支援の程、よろしくお願いたします。

(連絡先)

委員長 永井 達也 (小学校)
p4sk6jvg@okayama-u.ac.jp
副委員長 日向 洋平 (中学校)
pkes5i38@okayama-u.ac.jp
副委員長 栗坂 歩実 (幼稚園)
pzin63d7@okayama-u.ac.jp

組合の主な活動

団体交渉、学長懇談会研究科長・各部長・病院長と交渉、講演会、学習会の開催、レクリエーション活動、コーラスサークルなど

ユニオン

無料法律相談『ユニオン』をご利用ください。セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも結構です。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：中東靖恵 文学部准教授 内線 7426

医学部職員組合



新しく入職されたみなさん、おめでとうございます。はじめて就職された方々、新たに職場に就かれた方々、夢と希望を抱きながら多忙な毎日をお過ごしではと思います。岡山大学の中でも鹿田地区は教育、研究及び医療という大きな3本柱から成っている職場で、さまざまな職種と幅広い年代の教職員が働いています。そのような中にいると同じ教職員とはいえ、各職場により、考えること思うこと、話してみたいこともさまざまです。

医学部職員組合は、さまざまな職場の組合員から成りたっており、職場の垣根を超えて、情報を発信したり、掘りどころとなったりします。より良い職場をつくろうと、みなさんとともに活動しています。また、組合に入ると“ろうきん”や“教職員共済”の各種保険など生活を守り支援する特典がお得に利用できます。すぐ身近にある職員組合を大いに利用してください。お待ちしております。

組合事務所は、中央診療棟3階北側通路東寄りであり、黄色い看板が目印です。

(連絡先)

鹿田事務所 (水曜 11:30~15:30) 内線 7632
shikataunion@gmail.com

楽しい仲間のおあみりいコンサート vol.7 ～心にぐっとくる歌・唄・Song～

日にち・会場・開演時刻が決まりました!

出演：岡山大学職員組合合唱団・ムジカニシムラ

日時：2025年4月29日(火・祝)

開演 15:00 開場 14:45 **入場無料**

会場：岡山県生涯学習センター 情報・創作棟5階
スタジオ(岡山市北区伊島町3丁目1番1号)

組合合唱団と一緒に歌いませんか?

こんにちは!職員組合合唱団です。合唱団では月に3回、金曜日の18時00分から約1時間半、岡山北公民館で練習をしています。世界や日本の名歌、心にジーンとくる懐かしい歌等を楽しみながら歌っています。毎回、簡単なストレッチを行うことからスタートし、発声練習を行った後、季節感のある曲を選び、部屋いっぱい、公民館いっぱいに歌声を響かせています。身も体もほぐれ、一週間の疲れを解放しています。一度、練習風景を覗いてみてください。お待ちしております。

お問い合わせは、組合(内線7168)まで。

サイクリングで里山探訪(広島・愛媛編)

第12回 瀬戸内の静かな島巡り

高橋裕一郎(理学部職員組合)

春になりサイクリングが快適な季節になりました。大小の島々が美しい景観を織りなす瀬戸内海の島巡りを楽しんでみませんか。波のささやきを感じ、潮風に吹かれ、穏やかな自然と人々の暮らしに触れると、街中の喧噪を忘れてストレスが解消されます。瀬戸内の島々へ渡るには、かつては船を利用しました。しかし、現在では橋で渡れる島も増えてきました。広島県と愛媛県の瀬戸内には、島をめぐるサイクリングコースが整備され、海外からのサイクリストにも人気です。岡山からは少し離れていますが、愛媛県上島町の4つの島を3つの斜張橋(上島架橋)で結んだ「ゆめしま海道」を紹介します。国際的な人気を誇る片道70キロの「しまなみ海道」に比べると、距離が短い初心者向けのコースです。しかも、ここには離島の静かな雰囲気が色濃く残されています。

車で山陽自動車道を通り、西瀬戸自動車道へ。広島県の生口島ICで降りて、生口島の①州江港(すのえこう)の駐車場まで車で自転車を運びます。ここを出発点にして、しまなみ海道の一部を構成する斜張橋の②生口橋を渡り、生口島へ向かいます。その後、海沿いの県道366号を走り土生(はぶ)町の造船所の横を走り抜けます。私が通



生口島→因島→弓削島→佐島→生名島→岩城島→生口島
りかかったときには、造船所のドックに修理中のイージス艦を見かけました。大きく、のっぺりした外観で、穏やかな瀬戸内の海と対照的な厳めしさを感じました。もう少し走ると③家老渡(かろうと)港に到着です。



家老渡港の小さなフェリー

家老渡港から弓削島の④上弓削港まで渡し船のようなフェリーで5分ほど渡ります。生口島と

因島は地理的には離島ですが、本州と四国に橋で結ばれており、人家も多く造船業などの産業も活発です。しかし、弓削島は本州とは橋でつながっていないため、そこに渡ると、車の交通もほとんどなくなります。懐かしい風景がよく残され、サイクリング天国と言えます。港の近くに蔵を改修したカフェ「Kitchen 313 Kamiyuge」があり、手作りのパンとドリンクで一服しましょう。



蔵カフェの八朔マフィンと発酵八朔ソーダ

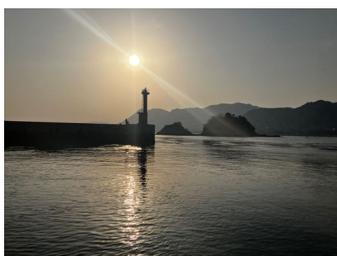
県道172号を走ると島を一周することができます。弓削太田の集落まで南下すると、小さな島には似つかない立派な斜張橋の⑤弓削大橋(1998年完成)が見えてきます。

橋を渡ると西隣の佐島です。佐島の北端の県道338号を東西に横切ると、まもなく⑥生名橋(いきなばし)(2011年完成)に辿りつきます。この橋は経費を節約するためか、車道幅員が1-1.5車線と狭く、片側に人と自転車の側道が設けられています。この橋を渡ると生名島で、海沿いの道を走ると最も新しい⑦岩城橋(2022年完成)が見えてきます。この橋を渡ると一番大きい岩城島です。橋の主塔はコンクリート製で137メートルもの高さがあります。この橋の完成で4つの島がつながり、「ゆめしま海道」が完成し、上島町の一体化が進みました。時間と体力があれば、岩城島では積善山の展望台に登ったり、東側の海岸沿いの道を走って遠回りしたりすると良いでしょう。



岩城橋の高い主塔

岩城島の北端の⑧小漕(おこぎ)港にたどり着くと、生口島の州江港が見えます。その背後の山の斜面には西瀬戸自動車道が望むことができます。三光汽船のフェリーで生口島の州江港へは5分です。生口島に戻ると、道路で本州や四国とつ



夕日の小漕港の灯台と鷲小島

ながっている安心感があります。しかし、静かな離島の雰囲気が薄くなったとも感じます。ゆめしま海道は変化に富み、離島の昔ながらの風景を味わえる「ゆめ」のようなコースです。